

令和4年度 第3回 西小学校運営協議会 会議録

1. 開催日時 令和4年11月17日(木) 13時30分から16時00分
2. 開催場所 西小学校 会議室
3. 出席委員 中谷 忠司 土屋 雅利 加藤 正寿 山田 悟央 三上 昌子
岡野 みの 福田 達樹 鈴木 将孝
4. 欠席委員 平出 慎一郎
5. 学 校 青島 治道(校長) 長瀬 千晶(教頭) 古田 秀樹(CS担当職員)
加美 美紀(CSディレクター)
6. 教育委員会 鈴木 陽子(教育総務課)
7. 傍聴者 なし
8. 協議事項
(1) 議長の選出について
(2) 課題についての職員の取組みについて
(3) 今年度の学校経営方針に基づく、教育活動の紹介
9. その他及び連絡事項
10. 会議録作成者 CSディレクター 加美 美紀
11. 会議記録

(1) 議長の選出について

前回の協議会にて加藤委員にご依頼しており、教頭より委員への確認があった。

(2) 課題についての職員の取組みについて

校長より、前回の協議会での熟議内容を職員に伝え、4つの経営重点の一つ「働きがい改革の推進」に視点を置き、取組みをはじめたとの報告があった。また、9月に職員に示した働き方改革の動画を視聴した。

その後、教頭より具体的な取組みについての説明があった。

① 部活動ボランティア

地域にお住まいの方に陸上部ボランティアとしてご指導いただいた。

② 日直当番の廃止

職員交代制での当番をやめ、その時間を教材研究に充てている。

③ 水曜ふれあいDay を設ける

教員と児童が触れ合う時間を十分に確保するため、毎週水曜日は宿題の添削をしない日とし、前日火曜日は学校からの宿題を出さない。

④ SDGs 講師依頼

専門学校の講師の方から、食品ロスや地産地消についてのお話をいただき、視野を広げることができた。

以上の具体的な取組みについて、委員からは以下の発言があった。

- 外部の講師を招く授業を企画することに、先生方の時間がとられると聞いている。企画の内容に沿った講師を探す方法が、パッケージとしてあれば利用しやすいのではないか。水曜ふれあいDayなど知っておくべきことは、さくら連絡網を使って伝えてよいのではないか。（福田委員）
- こういう内容の授業をやりたいと思った時の依頼先が一元化されて、簡単に見ることができるものがあると良い。水曜ふれあいDayについては、宿題以外に家庭でやるべきことが見え、学びのリソースが増えて良いのではないか。（鈴木委員）
- 水曜ふれあいDayを、先生方はどのように感じているのだろうか？（岡野委員）
→ 昼休みなど今まで以上に楽しく触れ合うことが出来ているようだ。

(3) 今年度の学校経営方針に基づく、教育活動の紹介について

以下のA、B、Cについて教頭、生徒指導より紹介があった。

- A) キャリア教育を実践に具体化・・・修学旅行先で仕事に対する思いを聞く、外国の方からその国の文化について聞く、町探検や醤油の出前授業を学ぶ。
- B) 研修を軸に新しい教育を推進・・・外国語科教育、ICT教育を推し進めるために、低学年から英語の授業を行い、教育委員会の指導のもと、職員がICT研修を行っている。
- C) 適時性と柔軟性のある学校体制の擁立・・・ていねい、あったか、あんしんをもとにした生徒指導を行う。何かが起きた場合、誰がどのように対応していくかなどの基本方針を作成する予定。発達支援教室を作り、個別対応するための部屋を設けている。

以上の取組みについての説明に対し、委員から以下の発言があった。

- 自分から英語で話しかける、タブレットと結びつけるなど、より進んだ英語学習を期待したい。キャリア教育については、大人からいろんな話を聞くだけでなく自ら話しかける、自分から社会にかかわる力を身につけてほしい。学校とPTAが協力関係を結べていけると良い。（福田委員）
- 町探検など、以前はお母さんボランティアと一緒に動いてくださったが、今は仕事されていて忙しい。こういう時こそ、地域ボランティアに声掛けをして参加してもらえるとありがたいのではないか。（三上委員）

- キャリア教育について・・・将来浜松という地域にかかわるためにはどんな働き方ができるのか、浜松にはどんな企業があるのか、この会社はこういう部分が日本一、世界一なのだと知るチャンスがあると良い。(鈴木委員)
- 子供たちも地域の一員なので、地域の大人、高齢者とともに活動できる場があると良いと思う。(岡野委員)
- 学校の課題、困っていることなど項目を決めて、より深く掘り下げて考えてみてはどうだろうか。また、先ほど教育の質をあげるとのお話があったが、どういうことなのか知りたい。(山田委員)
 - 教員が知識を教え込むのではなく、子供が自ら考え、求めることができるようにしていく。そして常に教師の側で、最上位目標である学校教育目標「進んで学び共に世界で生きる子」を意識していきたい。
- 発達支援学級が作られると聞いている。詳しく知りたい。(加藤委員)
 - 来年度より、新設されることになった。希望者もあり1学期からスタート出来そうだ。
- 今の子供たちは、英語を学ぶことで外国人旅行者から聞かれたことに答えることができてうれしいだろう。また、匠の技や日本の伝統文化を知るチャンスがあり、様々な情報も入ってくるので、自分がやりたいことを選べばと良いと思う。(土屋委員)
- 日本語と英語など、子供はどちらに向いていけばいいのか戸惑っていないだろうか。子どもたちは楽しく過ごせているのだろうか。本当は寂しいと感じている子供もいるかもしれないので、児童会、教育委員会と連携して情報交換してはどうか。(中谷委員)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

その他及び連絡事項

- 来年度から、学校支援コーディネーターを設置するため、適任者がいらっしゃればお知らせください。
- 次回開催日時 令和5年2月9日(木) 13時30分～16時